道徳年間指導計画 第5学年

重点目標

	内容項目	[主題名] 教材名 (出典)	主題構成の理由	※ねらい○発問 ◎中心発問	他の教育活動等との関連	『わたしたちの道徳』 「高知の道徳」との関連	地域・家庭との連携	評価・振り返り
四月 (第二週)	礼儀	[気持ちのよいあいさつ] 1. よいあいさつがよい 出会いを作る (みんなのどうとく)	礼儀は、他の人との関わりにおける生活習慣の基本であり、人間としての尊重し合う心の土台ともなるものである。その場に応じた言葉を使い、気持ちのよい挨拶をするには、どうしたらよいのか考え、社会生活の中で明るく楽しく過ごすしていくためには挨拶が欠かせないものであることに気づき気持ちのよい挨拶をしようとする態度を育てたい。	※生活の様々な場面に応じた言葉を使い、気持ちのよい挨拶ができるように育てる。 ○あいさつが難しくてなかなか言えないみんなは、どんなことを考えていたでしょう。 ◎おばあさんの顔がにこっと明るくなったのを見て、みんなはどんなことを考えたでしょう。	生活目標 「あいさつをしよう」 「遠足」 「挨拶運動」	<終末> P. 56 を活用する。	遠足 保護者・地域の方の参画	教材 ()
四月 (第三週)	希望と勇氣、 努力と強い意志	[希望をもって] 2. メジャーリーガー・イチロー (みんなのどうとく)	自分を支えてくれている人がいることに感謝し、自分を支えてくれている人の願いや期待にこたえるためにも自分の夢や目標をしっかりもちそれに向かってくじけず努力していこうとする意欲を育てていきたい。	※より高い目標を立てて、困難や失敗にくじけずに、希望をもって一歩一歩努力しようとする意欲を育てる。 ○一流のプロ野球選手を目指して努力を続けるイチロー選手をあなたはどのように思いますか。 ◎夢を追いかけるといことは、どういうことでしょう。	算数 「整数と小数」 音楽 「音の重なりとひびき」 体育 「マット運動」 「鉄ぼう」 学級会 「5年生になって」	<終末> P. 18 を活用する。	P16～P19 保護者・地域の方の参画	教材 ()
五月 (第一週)	親切、 思いやり	[困った人の身になって] 3. くずれ落ちたダンボール箱 (5年生の道徳)	困っている人がいれば親切にし、助けてあげなくては、いけないことは、だれでも分かっているが、恥じらいや照れ、自己中心的な考えから、困っている人に手を差し伸べることができないことも多い。思いやるだけではなく、親切を行為に移す実践力の育成が大切となってくる。相手の立場や気持ちを真剣になって考えより深い思いやりの心をもつて親切な行動ができる態度を育てていきたい。	※困っている人を見た時は、その人の身になって考え、親切にしようとする態度を育てる。 ○段ボール箱を片付けている時、「わたし」は、どんなことを考えていたでしょう。 ◎始業式で校長先生の話聞いている「わたし」は、どんなことを考えていたでしょう。	「遠足」	<終末> P. 60 を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材 ()

五月 (第二週)	規則の尊重	[法やきまりを守って] 4. きまりは何のために (私たちの道徳)	きまりは、複数の人々が、互いに気持ちよく過ごしていくために欠かせないものである。高学年に入り、リーダーシップが求められるようになった児童は、今あるきまりを守ったり、守らせたりするだけではなく、きまりの是非やその内容の適切性を考えられるようにしていく必要がある。そして、法やきまりを守り、進んで義務を果たそうとする態度を養っていききたい。	※公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にし、進んで義務を果たそうとする態度を養う。 ○きまりを破るようになったみんなは、どんなことを考えていただろうか。 ◎健一、鉄男は、きまりについてどのように考えているだろうか。	生活目標 「学校のきまりをまもろう」 「交通安全教室」 「避難訓練」	P. 126～129 を読む。	「交通安全教室」 保護者・地域の方の参画	教材 ()
五月 (第三週)	個性の伸長	[長所をのばす] 5. マンガかになろう (5年生の道徳)	人は身体的、精神的特徴が異なり、長所と短所がある。児童が自分を深く見つめ、長所を自覚し、認め合うことが大切である。資料を通して、友人や集団を自己を映す鏡として見つめさせ、特に長所を正しく理解し、伸ばしていこうする心情を深めたい。	*自分の特徴を知って悪いところを改め、良いところを積極的に伸ばす。 ○いじめられても笑っている癖がついた「わたし」は心の中ではどう思っていたのでしょうか。 ○戦争ははげしくなる中で、「わたし」はどんな気持ちでマンガを書き続けていたのでしょうか。 ◎漫画家になるべきか迷った時、母に助言され「わたし」はどんな気持ちになったのでしょうか。	体育 「リレー・短距離走」 外国語活動 「ジェスチャーをしよう」	<終末> P. 50 を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材 ()
五月 (第四週)	真理の探究	[進んで新しいものを求めて] 6. 天からの手紙 (私たちの道徳)	児童一人一人がもつ真理や理想に対するあこがれやそれを見極めようとする意欲を高め、創造的な思考が促されるようにしていくことが重要である。児童が自己の目標に向かって、日々気持ちを新たにして、一日一日を改善していこうとする生き方への意欲を高めていきたい。	※宇吉郎の受けた感動を共有することを通して、真理探究のすばらしさと難しさを知り、工夫して生活をよりよくしていこうとする態度を育てる。 ○顕微鏡で雪の結晶を見た時、宇吉郎はどのようなことを思ったのでしょうか。 ○研究室の仲間のつぶやきを聞いた宇吉郎は、どんなことを考えただろう。 ◎宇吉が、雪の結晶は、天からの手紙のようだと思ったのは、どんな思いからでしょうか。		P. 46～49 を読む。 <終末> P. 42 を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材 ()

六月 (第一週)	友情、 信頼	[おたがいを大切にしながら] 7. 言葉のおくりもの (みんなのどうとく)	誠意をもって、友だちに接し、互いに励まし合って、友人関係を築き上げることこそ真の友情といえる。この時期、異性間では反発を感じたりして素直に相手を認めにくくなることもある。しかし、真の友情は相手の心情を理解することで、誰とでも成り立つものであることを幅広く考えさせ、男女仲良く助け合っていこうとする態度を育てていきたい。	※互いに信頼し、男女仲よく協力し助け合おうとする心情を深める。 ○からかわれている一郎の気持ちと平気で明るく活発にしているすみ子の気持ちを考えてみましょう。 ◎すみ子が胸をはって「言葉のおくりもの」を読むのを聞き、たかしは、どんな気持ちになったでしょう。	体育 「水泳」 「田植え」 総合的な学習の時間 「お米を育てよう」 「プール開き」	<終末> P. 75 を活用する。	保護者・地域 の方の参画	教材 ()
六月 (第二週)	生命の 尊さ	[かけがえのない命] 8. コースチャャぼうやを 救え (希望を持って)	人はみな、たった一つのかげがえのない生命をもって生きている。その大切な生命を保持することは、生きがいのある充実した社会生活をおくるためにも重要なことである。生命の尊さについて理解し、自分と同様に他人にも、かけがえのない生命であることを自覚し、このかけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てていきたい。	※自他の生命を尊重し、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。 ○コースチャー坊やの大やけどを知った人たちは、どんなことを考えたでしょう。 ◎コースチャー坊や救うために、多くの人々が協力したのは、どんな気持ちからだったでしょう。	「避難訓練」	<終末> P. 98 を活用する。	保護者・地域 の方の参画	教材 ()
六月 (第三週)	節度、 節制	[気持ちのよい習慣] 9. 父がぼくに教えたか ったこと (みんなのどうとく)	生活のあらゆる場面において節度を守り節制に心掛け、心身の調和のある生活の実現に努めることは、自己の人生を豊かにし、意味ある生き方につながる。資料を通して、児童自らが自覚できるようにする。	※自分の生活を振り返って内省するとともに、望ましい生活習慣はすべての行為につながることに気付き、節度ある生活をする態度を育てる。 ○生活についていろいろと言われている誠也は、どんなことを考えていたでしょう。 ◎自分できちんとした生活態度をしている時、誠也はどんなことを考えていたでしょう。	「委員会活動」	<終末> P. 10 を活用する。	保護者・地域 の方の参画	教材 ()

六月 (第四週)	自然愛護	<p>[自然を大事にする]</p> <p>10. チョモランマ清掃登山隊 (みんなのどうとく)</p>	<p>人間は自然の恩威を受けて生きているが、人間が生態系のバランスをこわし、自然を破壊している。人間の自然の中の一員として自然と共存していくという意識を持つことが大切である。一人一人が自然の大切さを理解し、環境を考え、自分にできることから実行しようとする態度を育てていきたい。</p>	<p>※自然の偉大さを理解し、自然との共存のあり方を積極的に考え、自分にできる範囲で自然環境をよくしようとする心を育てる。</p> <p>○チョモランマはアジアの最高峰だから、アジア人の手できれいにしたいという思いになったのは、どんな気持ちからでしょう。</p> <p>◎自分たちが清掃していたのと同じ時期に、別の登山隊がごみを捨てていたのを知っても清掃登山を続けようと考えたのは、どんな思いがあったからでしょう。</p>	<p>総合的な学習の時間</p> <p>「お米を育てよう」</p>	<p><終末></p> <p>P. 110、111 を活用する。</p>	<p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>
七月 (第一週)	友情、信頼	<p>[友だちと一緒に]</p> <p>11. 星野君と定金君 —星野仙— (5年生の道徳)</p>	<p>友だち同士が互いに助け合い、信じ合うことは、友だち関係をよりよくしていくためには欠くことのできない大切なことである。そのような関係を築いていくためには、まず相手に対する思いやりの心をもたなければならない。つまり、相手のみになって考えることである。そして、誠実な心をもって接することが大切である。互いに偽ることなくつきあうことで、本当の友情が成り立つ。</p>	<p>*互いに信頼して友情を深め、仲良く協力して助け合おうとする心情を育てる。</p> <p>○星野君は定金君に「毎日に学校へ来たいか」と聞いたのは、どんな気持ちからでしょう。</p> <p>◎「無理だよ」と定金君に言われて言葉に詰まった星野君はどんなことを考えていたでしょう。</p>	<p>国語 「次への一歩—活動報告書」 算数 「合同な図形」 体育 「水泳」 長期集団宿泊活動</p>	<p><終末></p> <p>P. 72 を活用する。</p>	<p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>
七月 (第二週)	正直、誠実	<p>[自分に誠実に]</p> <p>12. 見えた答案 (希望を持って)</p>	<p>嘘をついたり偽りの行動をとったりすることは、自分の心を暗くする事を知り、正直かつ誠実に生きることによって明るい心を持てることに気付かせたい。</p>	<p>*正直で陰ひなたなく、常に明るく誠実に行動しようとする態度を養う。</p> <p>○テスト勉強できていなかった花子は、テストの問題を解きながらどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>○どうしても問題が解けず、よし子の答案を思わず見てしまった時、花子はどんなことを考えたでしょう。</p> <p>◎100点の答案がかえってきたのに、みじめな気持ちの花子は、どんなことを考えたでしょう。</p>		<p><終末></p> <p>P. 38 を活用する。</p>	<p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>

九月 (第一週)	親切、思いやり	[思いやりの心] 13. 台湾からの転入生 (みんなのどうとく)	私たちがよりよい社会生活を送るためには、相手を思いやり、その立場に立って考えることが求められる。人間関係の深さの違いや意見の違いなどを乗り越え、思いやりの心とそれが伴った親切な行為を、児童が接するすべての人に広げていこうとする気持ちが大切である。	※相手の立場に立って考え、思いやりの心をもち温かく親切に接しようとする気持ちを育てる。 ○みどりが「なんでも聞いてね。」と声をかけたのは、どんな思いからか。 ○ケイからの手紙の内容を聞いて、みどりはどんなことを考えたか。 ◎先生の言葉に、みどりがはっとしたのはどう思ったからか。	「ふれあい参観日」	<終末> P. 61 を活用する。	「ふれあい参観日」 保護者・地域の方の参画	教材 ()
		[向上心] 14. 忘れられない区間賞 (ゆたかな心)	児童が自ら計画を立てて、自主的に学ぶ意欲と態度を育てることが、道徳教育の大切な役目でもある。くにこを、じけず努力するためには、希望をもつことが必要となる。苦しい時にこを希望を失わず、努力し、自分の決めたことに対して、最後までやり遂げようとする心情を育てたい。	※元江の最後まであきらめずに努力する姿を通して、目標をもって努力することの大切さを知り、心に決めたことをやり遂げようとする心情を養う。 ○運動会の八百メートル走で、入賞できなかった元江は、どんな気持ちだったでしょう。 ○駅伝大会に向けて練習している時、どんな気持ちだったでしょう。 ◎2区の区間賞を取り、先生やみんなに喜んでもらって胸がいっぱいになった元江は、どんなことを考えていたでしょう。	音楽 「ひびき合いを生かして」 図工 「じっと見つめてみると」 「プールおさめ」 生活目標 「運動会の練習をがんばろう」 「運動会」 「音楽会」	<終末> P. 20 の「豊田佐吉」について紹介し P. 21 の下段を読む。	運動会 保護者・地域の方の参画	教材 ()
九月 (第三週)	感謝	[感謝の心] 15. おしろい花の種は、 ぼくの心の中に (みんなのどうとく)	私たちは、一人では生きられない存在である。多くの人たちが支えてくれるおかげで、毎日生活することができる。私たちがよりよい社会生活を営むためにも、支えてくれている人たちへの感謝の心を深めることが、道徳性を育てるうえでの大切なことである。	※毎日の生活が多くの人たちのおかげで成り立っていることに感謝し、自分からそれに応えようとする態度を育てる。 ○その夜のおじさんの姿を、ぼくはどんな思いで目で追っていたらろう。○先生は、何を思って花壇を作り、草花の世話をし続けてきたのたらろう。 ◎世話をしてくれる人たちには自分はどうな考えで接してたらろうか。また、これからどう接していくことが大事たらろうか。	社会 「これからの食料生産」	<終末> P. 88 を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材 ()

<p>九月 (第四週)</p>	<p>善悪の判断、自律、自由と責任</p>	<p>[自由と規律ある行動] 16. うばわれた自由 (私たちの道徳)</p>	<p>自由な行動や言動には、責任が伴っていることが分かり、自分の行動に責任をもち、けじめのある生活にしていこうとする心情を育てたい。</p>	<p>※自由を大切に、自律的で責任のある行動をしようとする心情を育てる。 ○「だれであろうと国のきまりを破ったからには、許せません。」と言われたジェラルール王子は、どんなことを考えていたでしょう。 ◎「本当の自由」とは、どういうことだと思いますか。</p>		<p>P. 34～37 を読む。 <終末> P. 28 を活用する。</p>	<p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>
<p>十月 (第一週)</p>	<p>正直、誠実</p>	<p>[誠実な心で] 17. 手品師 (5年生の道徳)</p>	<p>夢や希望をかなえることと、正直に約束を果たすことの両者を満足させるような方法を考えるのではなく、自分が正直に生きたいと願う場合にも、こうした葛藤が生まれることに気づき、その状況でどこまで誠実な態度をとれるかを考えさせることで、誠実に行動しようとする心情を育てたい。</p>	<p>※常に、誠実で明るい心を持って行動しようとする心情を育てる。 ○男の子に手品を見せた手品師は、男の子が明るさを取り戻し、元気になった姿を見た時、どんな気持ちになったか ◎友人からの誘いの電話を断った時、手品師は、どんなことを考えていたでしょう。</p>		<p><終末> P. 39 を活用する。</p>	<p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>
<p>十月 (第二週)</p>	<p>国際理解、国際親善</p>	<p>[世界の人々とつながって] 18. ペルーは泣いている (私たちの道徳)</p>	<p>国際理解とは、相互理解・相互文化理解である。互いの立場や文化を理解し、それを尊重することにより、偏見や差別のない交流が生まれる。外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって積極的に外国人と接したり、交流したりして、国際親善に参加しようとするのが大切である。資料を通して、国際理解と親善の心を育てたい。</p>	<p>※世界の人々との交流を深め、親善に努めようとする態度を養い、それぞれの文化や伝統を認め合いながら、互いに尊重しあい助け合おうとする心情を育てる。 ○厳しい練習が繰り返され、何人かの選手が耐えられなくなってやめていった時、アキラは、どんな気持ちだったでしょう。 ◎アキラの教えた「上を向いて歩こう」をペルーの選手たちが歌っている時、アキラはどんな気持ちだったでしょう。</p>	<p>外国語活動 「外国語を知ろう」</p>	<p>P. 180～183 を読む。 <終末> P. 176 を活用する。</p>	<p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>

十月 (第三週)	相互理解、寛容	[広い心] 19. ブランコ乗りとピエロ (私たちの道徳)	謙虚さや寛容さは、自分の考えや立場を大切にしながらも相手の立場や心を尊重し、それを自分なりに受け入れることである。人と人の心を結び、濃密で調和のある関係を築いていくために、ありのままの自己を見つめる謙虚な気持ちを持ち、広い心で相手に接していこうとする心情を育てたい。	<p>※謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする心情を養う。</p> <p>○ゲートの赤いカーテンのすき間から、ピエロは、サムにこみ上げるいかりをこらえながら、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>○サムは、演技をしている時、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>○ピエロの心の中から、サムを恨む気持ちが消えてしまったのは、なぜだと思いますか。</p> <p>◎二人は、朝までどんなことを語り合ったでしょう。</p>		p. 84～87 を読む。 <終末> P. 80 を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材 ()
十月 (第四週)	生命の尊さ	[なくなった人が残したもの] 20. おばあちゃんが残したもの (希望を持って)	その人の生きていたあかしを心に刻んで、自分の生活の中に生かしていくことが大切である。生命への畏敬の念を、死者に対しても感じ取り、自他の生命を尊重する心情を育てていきたい。	<p>※亡くなった人が残したものを考えることを通して、自分の生き方に生かし、自他の生命を尊重して生きようとする心情を育てる。</p> <p>○「ぼく」は、おばあちゃんのことをどんなに思っていたでしょう。</p> <p>◎「ぼく」は、どんなことを考えて、おじいちゃんの還暦祝いに似顔絵をおくったのでしょうか。</p>	「避難訓練」	<終末> P. 100, 101 を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材 ()
十一月 (第一週)	節度、節制	[望ましい生活習慣を築ける人に] 21. 「早起きは三文の徳」の意味は？ (みんなのどうとく)	基本的な生活習慣を身に付けることの大切さは、だれでも知っている。それを身に付けて維持し、実践していくことが大切である。自分の生活を振り返り、必要に応じて改善しながら、望ましい生活習慣を身に付け、実践していこうとする態度を身に付けさせたい。	<p>※日々の生活を維持していくことの大切さに目を向け、望ましい生活習慣を積極的に築いていこうとする態度を養う。</p> <p>○さとしから「早起きは三文の徳」の話を聞いた時、たかしはどう思ったでしょう。</p> <p>◎早寝、早起きの意味を知って、たかしはどんなことを考えたでしょう。</p>	社会 「工業の今と未来」 家庭 「めざそう買い物名人」 学級会 「かぜの予防」	<終末> P. 12 を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材 ()

十一月 (第二週)	よりよく生きる喜び	[強く生きる] 22. 真海のチャレンジ —佐藤真海— (私たちの道徳)	人間としての誇りや愛情、 ともによりよく生きていこうとする強さや気高さを理解することによって、自分の弱さを乗り越え、人間として生きる喜びを感じる。様々な体験を通して、自分を奮い立たせることで、目指す生き方、誇りある生き方に近づけるようにしていきたい。	※真海さんの前向きに強く生きる姿を通して、弱さを乗り越えようとする人間の強さや気高さについて理解し、自分のよりよい生き方について考え、実践しようとする態度を育てる。 ○右足のひざから下を失った真海はどんな気持ちだったでしょう。 ◎オリンピック・パラリンピックのための最終プレゼンテーションで笑顔で話す真海は、どんな気持ちだったでしょう。		P.194～199 を読む。 <終末> P.190を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材()
十一月 (第三週)	礼儀	[心のこもった礼儀] 23. 待合室で出会った少女 (5年生の道徳)	礼儀作法とは、相手を尊重して思いやる気持ちや感謝の念などを、心と形で表現するものであり、相手を尊重する心を基盤とした相互敬愛である。生活での何気ない行為に、その人の思考が表れることに気づかせ、素直な心で礼儀正しき行動が出来るように指導していきたい。	*心のこもった礼儀を大切にし、時と場をわきまえて礼儀正しい生活をしようする態度を養う。 ○しばらく足元を見つめた後、ていねいに履物をそろえる少女を見て、「わたし」はどんな気持ちになったでしょう。 ◎「わたし」は「そのくらいのこと」という少女の言葉を聞いて、どんなことを考えたでしょう。	「挨拶運動」	<終末> P.57を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材()
十一月 (第四週)	公正、公平、社会主義	[こころの目] 24. 審判 (きみがいちばんひかるとき)	公正に行動した時と利害を優先させた時の気持ちを対比して考え、自分の利害を優先することなく公平に行動することのよさに気づけるようにする。	*私利私欲にとらわれず、誰に対しても、公平公正な態度をとろうとする気持ちを育てる。 ○「信二がいたからひいきしたんじゃないの」と言われた時、ぼくはどんなことを考えていたでしょう。 ◎ぼくは、兄の話を聞いて、どんなことを考えたでしょう。		<終末> P.132を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材()

<p style="text-align: center;">十二月 (第一週)</p>	<p style="text-align: center;">伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度</p>	<p style="text-align: center;">[故郷をあいする心]</p> <p>25. おじいちゃんのばち (ふるさとの志)</p>	<p>郷土を愛する心を育てるためには、郷土や我が国の発展に尽くし伝統と文化を育てた先人の努力を知り、自分もまたそれを継承し発展させていくべき責務があることを自覚して、そのために努めようとする心構えを育てる必要がある。</p>	<p>*太鼓打ちをやってみよう!と決心するにいたった主人公の心の変容を考えることを通して、郷土や我が国の伝統・文化を守り伝えてきた先人の努力を知り、自分もまたそれを継承していこうとする態度を育てる。</p> <p>○「正男も太古を打ってみんかよ。」と父に言われて正男は、どんなことを思っていたでしょう。</p> <p>◎父からおじいちゃんの話聞いた時、正男は、どんなことを思ったでしょう。</p>	<p>国語</p> <p>「古典の世界」 総合的な学習の時間</p> <p>「地域の方とのふれあいを通して」</p>	<p><事後指導></p> <p>「高知の道徳」 P. 20～23 をお家の方と一緒に読んでくる。</p>	<p>地域の方にゲストティーチャーとして伝統文化について話してもらう。</p> <p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>
<p style="text-align: center;">十二月 (第二週)</p>	<p style="text-align: center;">家族愛、 家族生活の充実</p>	<p style="text-align: center;">[父母の愛]</p> <p>26. たまごやき (5年生の道徳)</p>	<p>家族愛は、互いの信頼と愛情によって培われていくものであり自分の都合ばかりを優先し、身勝手に振る舞っていたので育まれない。まず、家族の一人一人が互いを思いやる優しさ、無償の愛をもち、さらに、家族の一員としての自覚を持つことによって育つものである。家族の中でも、特に関わりの深い保護者、父母、あるいは祖父母を敬愛し、家族における自己の在り方をふまえて、家族のために役立とうとする心を育てていきたい。</p>	<p>*父母・祖父母に感謝するとともに、家族の一員としての自覚をもって、明るい家庭を築こうとする心情を育てる。</p> <p>○父に「いいかげんにしろ」とどなられ、頬をたたかれた由紀は、布団の中に潜り込んでどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>◎ふるたきに駆け出す由紀は、どんなことを思っているでしょう。</p>		<p><終末></p> <p>「高知の道徳」 P. 56 を活用する。</p>	<p>事前に「高知の道徳」のP. 57 に記入をしてもらう。</p> <p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>
<p style="text-align: center;">十二月 (第三週)</p>	<p style="text-align: center;">規則の尊重</p>	<p style="text-align: center;">[公共物を大切に]</p> <p>27. まいごのカナリア号 (みんなのどうとく)</p>	<p>行楽地に出したゴミは持ち帰る事、駅前に自転車を放置をしないことなどはマナーとして知られている。だが、そのマナーを守れない人も多い。社会生活は法や決まりによって快適に営まれるようになってきている。それ以上に一人一人の善意を基にするマナーやエチケットの大切さも見逃せない。公德心に視点を置き、社会生活をよりよくしていこうとする気持ちを育てたい。</p>	<p>*社会生活をよりよくするために公德心を大切に、マナーやエチケットの重要性を感じながら、社会生活の中での自分の権利や義務を考える態度を養う。</p> <p>○カナリア号が戻ってこない様子を見て、昭夫は、どんなことを思ったでしょう。</p> <p>◎お父さんとひろしさんが、返ってこなくてもカナリア号を貸す様子を見て、昭夫は、どう思ったでしょう。</p>	<p>「2学期の反省」 「冬休みの生活」 「避難訓練」</p>	<p><終末></p> <p>P. 122, 123 を活用する。</p>	<p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>

一月 (第二週)	希望と勇氣 努力と強い意志	[希望をもって] 28. ベートーベン (希望を持って)	この時期の児童は、高い理想を追い求め、ある人物に憧れたり、自分の夢や希望が膨らんだりする。しかし、ともすると憧れの気持ちだけに終始してしまい、努力することを考えない児童も少なくない。日常生活における努力目標を立てくじけずに希望と勇氣をもって取り組み、その理想に向けて、着実に前進していこうとする実践意欲を高めていきたい。	※困難にくじけず、自分の夢や希望に向かっていくベートーベンの姿を通して、困難や失敗にくじけず、希望をもって自分の夢を実現しようとする意欲を高める。 ○目を覚ましたベートーベンは、部屋を見て、どんな気持ちになったでしょう。 ◎「つらいことをよりつらく考えるのはよそう。」と思ったベートーベンの心の中は、どんな気持ちだったでしょう。	音楽 「豊かな表現を求めて」 家庭 「ミシンにトライ！手作りで楽しい生活」		保護者・地域の方の参画	教材（ ）
一月 (第三週)	よりよい学校生活、集団生活の充実	[責任を果たす] 29. 残った仕事 (希望をもって)	人は誰でも自分の好きなように行動したいと思っている。だからと言って、みんながそうしたら社会生活は成り立たない。人間社会では、おのおのが社会的役割を担い、その責任をきちんと果たすことが原則である。人々の自己中心的な言動が多くみられる今日、この主題の価値は極めて重要である。	*集団の中で、責任を果たし、協力しようとする態度を養う。 ○「引き受けちゃだめだよ。」と言った時、ぼくはどんなことを考えていたでしょう。 ◎新しい本を貸すことができなくなったぼくは、どんなことを考えていたでしょう。	体育 「バスケットボール」	<終末> P. 140 を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材（ ）
一月 (第四週)	親切、思いやり	[心の温かさにふれて] 30. 思いもよらぬできごと (みんなのどうとく)	相手の身になって考え行動することは、よりよい人間関係を築く上で重要なことである。相手の人の思いに応え、自分は何をすべきなのかを考え、温かく接していこうとする態度を育てていきたい。	※誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って温かく接していこうとする態度を育てる。 ○長い列に並び、やっと自分の番になった時、私はどんな気持ちだったでしょう。 ○わたしは、どんな気持ちで不足していた二百円を出したのでしょうか。 ◎電車の中で、泣きながらわたしはどんなことを考えていたでしょう。	国語科 「手塚治虫」	<終末> P. 60 を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材（ ）

二月 (第一週)	勤労、 公共の精神	[社会のためにできること] 31. 小さな手から (みんなのどうとく)	勤労は、自分の生活維持のためだけに行うものではない。社会生活を支え、社会に奉仕することに自分の力を発揮し、そこに自分の存在感や生きがいを見出すこともまた、大きな目的である。他者や社会に役立つ喜びを味わうことで、積極的に公共のために役立つ活動をしようとする意欲を育てることが必要である。	※社会生活を支えるために、自分が役立っていかうとする心情を深める。 ○先生方がみんなのために働く姿を見て、ゆみ子はどんなことを考えたでしょう。 ◎おばあさんに「あなたたちの姿を見てみると、元気が出るね。生きる勇気がわいてくるようだよ。」と言われた時、ゆみこはどんなことを考えたでしょう。	社会 「森林を守る人々」 生活目標 「自分の係の仕事をがんばろう」	<終末> P. 152 を活用する。	保護者・地域の方の参画	教材 ()
二月 (第二週)	感動、 畏敬の念	[自然の偉大さ] 32. コロナのかがやき (5年の道徳)	世の中には人間の想像を超えた神秘的な出来事や限りなく美しいもの気高いものなどがある。人間は、自分の力が及ばない崇高なものを仰ぎ、より美しいものに接したいという願望をもっている。また、美しく崇高なものに接すると、心が洗われ、励まされることがある。人間が人間らしく生きていく上で、感動することは重要な意味を持つものである。普段の生活での小さな出来事の中にも、美しいものや神秘的なものがあることに気づき、感動をもって身の回りのものを見ることが出来るようにしたい。	*美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念を持つ。 ○ボロボドゥールに向かった時、「わたし」はどんなことを考えていただろう。 ◎日食が始まってから、わたしはどんなことを考えていただろう。	国語 「冬の朝」 音楽 「スキーの歌」 「スキー研修」	<終末> P. 114 の文章と関連する映像を電子黒板に映す。	保護者・地域の方の参画	教材 ()
二月 (第三週)	礼儀	[あいさつの大切さ] 33. オーストラリアで学んだこと (希望をもって)	「礼儀」は人間関係に欠くことのできないものである。温かい人間関係を持つには、相互に人格を敬愛することが大切であり、時と場に応じた礼儀を行う意義がそこにある。また、礼儀には作法が伴う。心のこもった礼儀を行うと共に作法の意義も理解できるようにしたい。	※心のこもった礼儀の大切さを知り、時と場に応じて行おうとする態度を養う。 ○犬の散歩で、初めて会った人に声をかけられた時、どんな気持ちだったでしょう。 ◎大人の人から、あいさつしてもらったことから「わたし」はどんな考えを持つようになりましたか。	「挨拶運動」		ゲストティーチャーの話を聞く。 保護者・地域の方の参画	教材 ()

<p style="text-align: center;">三月 (第一週)</p>	<p style="text-align: center;">感謝</p>	<p style="text-align: center;">[多くの人の支えに対して] 34. ありがとう上手に (希望を持って)</p>	<p>日常生活の中で助けられたり、支えられたりした時に、その人に対して感謝の気持ちを持つことは自然な事である。そのような時に自分たちを支えてくれた人々に対して意識を向け、その人々を尊敬し感謝する気持ちを育てることが大切である。支えてくれた多くの人々の行為から学び、さらにそれに応えて自分は何をするべきかを自覚し、進んで実践しようとする意欲を育てることが必要である。</p>	<p>*私たちの生活が互いの助け合いや協力で成り立っていることを理解し、感謝する気持ちを育てる。</p> <p>○「ありがとうございました」と一人一人が降りていくのを見て、私はどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>◎「ありがとう」と言った時、自分は、どんなことを考えますか。</p>	<p>「6年生を送る会」</p>	<p><終末> P. 89 を活用する。</p>	<p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>
<p style="text-align: center;">三月 (第二週)</p>	<p style="text-align: center;">よりよい学校生活、集団生活の充実</p>	<p style="text-align: center;">[私の学校] 35. バトンをつなげ (希望をもって)</p>	<p>6年生を送る会で、6年生のために一生懸命活動する5年生が、その活動を通して、学校全体を見渡して活動している6年生に気がつくという内容である。この資料を通して、自分が表に出ない時でも、全体を支えようとする最高額年度行動に気づくことができる。</p>	<p>*学校に愛情を持ち、学校の一員としての自覚を持って、自分たちの手で学校をよりよくしようとする気持ちを育てる。</p> <p>○「わたし」はどんな気持ちで「6年生を送る会」の準備をしていたと思いますか。</p> <p>◎市川さんから最高学年のバトンを受け取った「わたし」は、どんなことを考えているのでしょうか。</p>	<p>国語 「6年生になったら」 「6年生を送る会」 「卒業式」</p>	<p><終末> P. 162 の児童作文を活用する。</p>	<p>保護者・地域の方の参画</p>	<p>教材 ()</p>